

为 了 明 天

ウエイ ラ ミン テイエン

明日のために

子どもたちに希望を 人々に友情を

特定非営利活動法人 宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会(JCC)

<http://www.sokeirei.org>

為了明天—明日のために—

2020日中青少年写真書画交流展の成功を

NPO法人 宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会は、「歴史的にわが国と深い絆をもつ隣国—中国の農山村貧困区の母子保健・少年児童育成に協力することを通して、日本と中国の相互理解と交流を促進し、日中友好とアジアの平和ひいては人類の幸福に寄与すること」を目指して設立し、活動してきました。

具体的には教育支援として奨学金給付や図書セット・学校施設備品の寄贈、幼稚園建設など保育・幼児教育への協力を通して友情を育み、理解を深めてきました。

中国のめざましい経済発展と中国政府による農山村貧困区の問題解決への取り組みによって、当会のプロジェクトは、貧困区への教育支援等はその役割を果たし、新たな段階に入りました。

日本で問題となっている「子どもの安全」については中国の課題でもあります。

本年6月17日～18日、中国から提案があった北京の幼稚園・保育関係者に対し「子どもの安全教育」の研修実施に協力しました。研修は、子ども安全教育の専門的知識と豊富な経験のある清永賢二さん(日本女子大学名誉教授・一般社団法人安心安全教育協会創業者)から日本社会が直面している「いじめ」について、清永奈穂さん(NPO法人体験型安全教育機構理事)から子ども自身が危険から自らの身を守る

自助能力について、という充実した内容でした。

また、9月6日には、中国福利会の皆さんが清永さんとの意見交換の機会を持ちました。中国の幼児教育に生かされることを期待します。

2020日中青少年写真書画交流展(2020年2月4日～7日)を開催します。交流展のテーマは「平和・友好・未来」です。

日本と中国は一衣帯水の隣国ですが、日中戦争など困難な時代もありました。今日でも両国は政治体制が異なることもあり、歴史認識や経済問題などで軋轢が生じます。しかし、一貫して平和と友好は私たちの願いです。

平和は友情と信頼のうえに築かれます。交流展を通して、未来を担う両国の青少年たちが隣国への関心を寄せ、互いを知り、日中友好の架け橋となることを願っています。

7歳から25歳までの日本または中国に在住する青少年からの作品(写真・書画・絵画)を募っています。多くの皆さまからのご応募をお待ちしています。

開催に際し、日中友好団体を始め多数の団体のご後援、ご協力に感謝いたします。

交流展の成功に向けてご支援、ご協力下さいますようお願いいたします。

NPO法人 宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会 代表理事 井上 睦子

朝陽



日中平和友好条約締結40周年に寄せて

2018年4月1日、中国宋慶齡基金会王家瑞主席が「ピンポン外交」にゆかりのある老卓球選手一郗恩庭氏(国家体育総局)・梁戈亮氏(北京大学)らを含む代表団18名を率いて来日、ホテルニューオータニで「日中平和友好条約締結40周年」記念パーティーを主催された。程永華駐日中国大使、汪婉参事官もご列席になり、各界の友好人士が招かれ、にぎやかに交流した。

日中友好平和条約は、1972年9月、就任したばかりの田中角栄首相が大平正芳外相らと急ぎ訪中し、周恩来首相と会談し、毛沢東主席と会見、「日中共同声明」に署名することにより端緒が開かれた。共同声明では、日本側が過去において中国人民に対して重大な損害を与えたことに対する反省などが述べられている。この後、中国における文化大革命の終息など様々な歴史的経緯を経て、1978年8月、福田赳夫内閣の園田直外相と中国の黄華外相が日中友好平和条約に署名した。

この中華人民共和国の国際舞台への登場を促す突破口となったのが「ピンポン外交」だっ

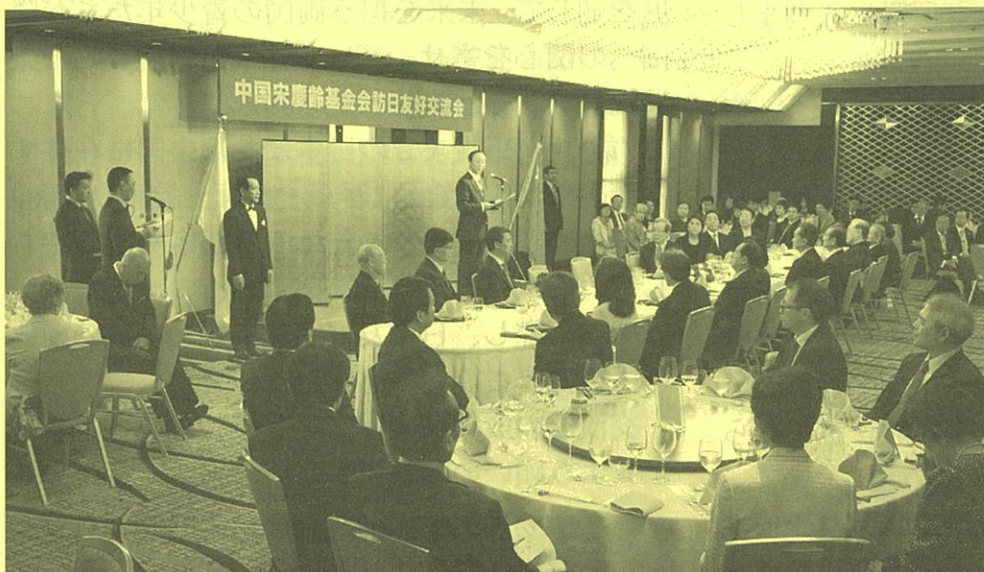
お互いにもっと語り合い、
もっと知り合う機会をもちたい

た。1971年に名古屋で開催された第31回世界卓球選手権に中華人民共和国が6年ぶりに参加した。その時の莊則棟氏など中国の一流選手と米国選手団との交流が中国の米国チーム招待に発展した。さらに中国は米国政府代表を招き、結果的には、キッシンジャー米大統領補佐官の秘密訪中を促し、1972年2月のニクソン大統領訪中につながり、日中国交正常化にもつながった。今回の代表団は「ピンポン外交」の記念を内包するものでもあり、代表団は、2日目に名古屋に赴いた。

因みに、日中友好平和条約調印時の黄華外相は、後の中国宋慶齡基金会の主席である。黄華主席は、生前、何理良夫人とご一緒に来日され、日本基金会の私たちとは勿論の事、中国宋慶齡基金会による寧夏教育事業を支援するために大きなプロジェクトを立ち上げ、成果を上げて下さったライオンズクラブ(東京)とも親しく交流された。園田直元外相夫人園田天光光女史もまた宋慶齡日本基金会を何彼と支えて下さった。

日本と中国の宋慶齡基金会は、両国の平和と友好を育み、発展させていきたいという思いと意志を多くの皆様方とより強く共有したいと願っています。そのためには、形にこだわらず、もっと日常的に語り合い、共同活動し、共感する場を支援者の皆様と共に企画し、実現していきたいと思ひます。

(久保田 博子)



王家瑞来日。「日中平和友好条約締結40周年」記念パーティー

2018年上海宋慶齡基金会理事年会に参加して

張兵（JCC理事）

2018年4月23日～24日、JCCの代表者として2018年上海宋慶齡基金会理事年会に出席し、年会プログラムの全てに参加し、年会大会にてJCCを代表して発言し、上海宋慶齡基金会及び海外宋慶齡基金会関係者の方々と有意義な交流を行った。

年会の主な構成は以下の通りである。①4月23日9:30～11:30、上海易元堂美術館にて「改変—上海宋慶齡基金会展覽」参観、海外理事懇談会、②4月23日14:00～17:00、衡山賓館にて2018年上海宋慶齡基金会理事年会大会、その後集合写真と晚餐会、③4月24日9:00～11:00、中国3D印刷文化博物館見学、その他。

「改変—上海宋慶齡基金会展覽」の内容は宋慶齡女史の業績紹介と上海宋慶齡基金会による諸慈善事業の紹介の2つからなり、写真、動画、文字などを適宜利用してのたいへん面白くて充実したものであり、上海宋慶齡基金会の活動について詳しく知ることができた。

年会大会は上海宋慶齡基金会の歴史と現在を映像で紹介する「改変」（CHANGE）との題名のビデオを鑑賞した後に、上海宋慶齡基金会2017年活動報告及び2018年活動計画が同会副理事長の邹蔚氏より報告され、中国福利会秘書長の張曉敏氏による講話及び上海宋慶齡基金会副理事長の毛経権氏による講話、



年会大会にてJCCを代表して発言

上海宋慶齡基金会理事及び海外理事による発言が続いており、JCC代表の発言時間が与えられ、約5分間でJCCと上海宋慶齡基金会との交流について上海和平婦幼保健院建設と南三陸幼稚園再建を事例に紹介し、現在JCCの活動等について説明を行った。

上述した上海和平婦幼保健院建設と南三陸幼稚園再建などの交流事業の当事者である許徳馨氏、管建華氏、金順徳氏をはじめ、上海宋慶齡基金会関係者の方々と密に話をすることができて今後における更なる交流の促進について一致した。アメリカやイタリア、南アフリカなど海外の宋慶齡基金会の関係者とも情報交換を行い、親睦を深めることができた。

得たものはたくさんあって特に上海宋慶齡基金会の募金能力の大きさ、活動範囲の広さ及び活動件数の多さに強い感銘を受けた。それを見習いながらJCCのメンバーとしてこれからもっと努力していきたいと思う次第である。



2018年上海宋慶齡基金会理事年会集合写真

日中の英語教育の比較 —グローバル化時代の言語政策—

講師：新保敦子 早稲田大学教育学部教授

本日の講演の目的は、日中の英語教育の比較検討をしながら、グローバル化時代の言語政策について検討することにある。こうした問題意識の根底として、中国において、21世紀以降の15年間に、なぜ急速に英語が話せる人が増えたのかという疑問がある。また、日本の英語教育を考えていく上で参考になる点があれば嬉しく思う。

中国において、改革開放以後、積極的な教育改革が進展してきた。沸騰する教育改革と言っても良いほどの展開である。現在、高等教育進学率は約40%であり、まさに高等教育大国と言える。

こうした教育改革に伴い、英語熱が高まってきた。たとえば書店では、アメリカ留学試験用のテキストが山のように積み上げられている。事実、全米で中国人は、留学者数第一位を占めている。

また、外国語教育が小学校に導入され、2001年の「全日制義務教育英語課程標準」では、英語(外国語)が週2コマ、小3より必修化された。この約15年間の中国における小学校英語教育について概観してみると、以下が指摘できる。①都市部では、小1、あるいは幼稚園から学ぶ児童が多い、②英語で授業ができる大量の中国人英語教師(専科)の育成、③英語の授業での教授言語は基本的に英語。

都市部においては、一带一路構想の中で、小学校英語教育が積極的に進められている。たとえば、北京師範大学のアジア太平洋実験



学校では、イギリスの演劇集団から専門家を招へいして、「シルクロードよ 永遠に」という英語ミュージカルを北京市内の劇場において上演した。今後、ヨーロッパなどにおいて、上演の予定であるという。このように中国において漢語と英語のバイリンガル人材が育っていることは、注目に値しよう。

ただ、中国の場合、農村部や少数民族地域では英語の教員が確保できないことも往々にしてある。英語は、高校・大学入試において、教育環境の格差が生じやすい教科である。そのため、こうした格差をどのように克服するかが課題となっている。

一方、日本では、2020年から小学校5-6年で、教科として週2コマが導入されようとしている。ただし、担任が英語を指導することになっている。中国の英語教育を参考にするならば、今後、日本の英語教育においては、英語教員(専科)の育成が急務と言えよう。それとともに、多様な言語教育を通じての他文化への寛容性を育てることも重要と言えるのではなかろうか。

日本経済と中国経済について



日本経済と中国経済

—中国は日本を超えたか？

佐々木 芳邦
2018年5月26日

講師：佐々木 芳邦 さん

株式会社ホテルオークラ管理本部 部長

経済規模世界第2位の中国。欧米などの民主主義国を横目に、中国政府は独裁と非難されながら、世界でも稀に見る高い行政管理能力を発揮している。発展のスピードこそ数年前より少し落ちてきたが、依然として高い成長率を保っている。全体の発展度合は日本とはまだまだ大きな差があるとは言え、1つ、また1つと、いつの間にかいろいろな分野において、日本を追い越しているのではないか。日本経済と中国経済の現状についてわかりやすく解説された。講座の概要は以下のとおりである。

■ **日本経済の現状**：働く人の立場から見たら、経済は良くなっていない

■ **日本のどこが中国より遅れているのか？**
～ジャパンアズナンバーワンの時代の終焉～

中国より遅れている分野：基礎科学研究、高速道路、軍事産業、インターネット、ビッグデータ、携帯電話、海洋工学機器、量子コンピュータ、モバイルプロセッサ、チップ製造、チップパッケージ、石油採掘設備、石炭火力発電ユニット

■ **日本企業の退化**：曾て日本の経営は世界の手本であった。今では日本企業の不祥事が次から次へと

■ **中国企業の勢い**：恐らく最近の日経新聞を読んで疑問を感じる方も多かろう。どうして「独裁国家」と言われながらもこれだけ経済が良いのか？

■ **日本はどんな国でしょうか？—在日中国人の見る日本 ①**

■ **中国はどんな国でしょうか？—日本人の見る中国 ②**

■ **最近の話題から見る中国 ③**

① 在日中国人の見る日本

- ① 明治維新でアジア唯一の先進国に
- ② 第2次世界大戦時中国を侵略
- ③ 工業技術は最も信頼性が高い
- ④ 輸入品の中で日本製の人気が一番
- ⑤ 調和のとれた最も生活便利な国
- ⑥ サービスは世界一・警察が親切
- ⑦ 清潔・自然が美しい・食事が美味しい
- ⑧ 社内では協調精神が強い
- ⑨ ノーベル賞の受賞者が多い
- ⑩ 学生は勉強よりもクラブ活動に熱心

② 日本人の見る中国

- ① 共産党一党独裁・言論不自由
- ② 鄧小平対外開放政策で経済が大発展
- ③ 国土が広く、人口が多い
- ④ 自己主張が強い・マナーが良くない
- ⑤ 貧富の差が大きい
- ⑥ 毛沢東時代に「文化大革命」の悲劇
- ⑦ 反日デモ、日本と尖閣諸島を争う
- ⑧ 南中国海で主権を主張
- ⑨ 隋・唐時代は日本の先生
- ⑩ 北朝鮮問題でカギを握っている

③ 最近の話題から見る中国

- ① 習近平の語る中国の夢：
2020年小康社会、2035年現代化、2050年世界の強国
- ② トランプ訪中：28兆円に上る史上最大規模商談
- ③ 11/11独身の日：世界最大のセール（2兆8700億円）
- ④ 中国主導の一带一路・アジア投資銀行（AIIB）
- ⑤ スマホ決済で財布不要：人口13.7億人中約8億人
- ⑥ ドローン・監視カメラ生産：中国企業が世界のトップ
- ⑦ シェア自転車：駅前などあちこち乗り捨て
- ⑧ 華為日本法人の人材重視：初任給40万円
- ⑨ 出前ブーム：毎週2億人分のデリバリーごみ発生
- ⑩ グーグルのプログラミングコンテストに中国人学生が優勝することが多い

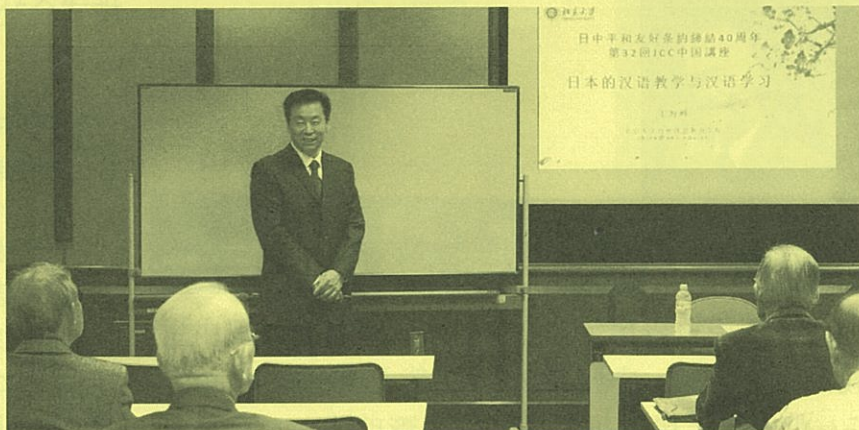
（文責：張兵）

日中言語文化交流の現在と未来

— 日本における中国語学習の視点から —

講師：王海峰氏

北京大学教授、文学博士



一衣帯水の隣国として日中両国の言語文化は悠久な交流の歴史を有し、相互に影響を与えながら発展してきたのである。しかし、現実には、両国の間には政治体制及び政治的意見の違いがあり、国民感情が混迷している。平和友好条約締結40周年を機に、両国の言語文化交流の現在と未来について考え、相互理解を深めるための可能性と課題が議論された。講座の概要は以下のとおりである。

日本における中国語教育の現状

1. 日本における中国語学習者 日本における中国語学習者は毎年、約40万～45万人。およそ①大学生、②高校生、③社会人、④通信制学習者とのように分けることができる。
2. 中国語教員の構成 大学における中国語教員は主に次の4つに分けることができる。①日本人教員、②中国から招いた教員、③中国人留学生、④非常勤講師
3. 中国語試験 主に次の3つがある。①中国語検定試験、②中国語コミュニケーション能力検定、③漢語水平考試(HSK)。ほかには、アジア国際交流奨学財団による「実用中国語技能検定試験」、日本ビジネス中国語協会による「ビジネス中国語検定試験」、国土交通省による「中国語通訳案内士試験」などがある。
4. 孔子学院 現在、日本には「孔子学院」14カ所、「孔子課堂」8カ所がある。初の孔子学院である立命館孔子学院以降、日本において孔子学院の展開がめざましい。孔子学院

は中国語や中国文化講座以外に中国語スピーチコンテストや、歌唱コンクールなども行い、多様な形で中国語と中国文化の普及に力を入れており、日中友好と相互理解に大きな役割を果たしている。

5. 日本における中国語教育の問題点 主に①技能より知識重視、②「聞く」「話す」より「読む」「書く」重視、③学生が長く続けられないこと、などを挙げることができる。

日本における中国語学習の現状についての一考察

1. 問題意識 ①日本人学生の中国語使用意欲はいかがであるか、②学生の個性心理や学習態度、学習動機などは中国語学習に対してどのような影響があるか、③いかに学生の使用意欲を促して中国語会話能力を高めていくか
2. 考察方法と調査対象、調査結果(略)
3. 日本人中国語学習者の中国文化への関心の喚起について ①多くの学習者は必ずしも中国語に興味なく、安易な動機で始めたため挫折しやすい。②学習意欲を持たせるためには中国文化を紹介し、中国文化に興味を持たせることが有効であろう。③教学時はテキストの内容に限らず、中国の自然風景や名所旧跡、民俗文化、最新の動向などを適宜取り入れて良いと思われる。(文責：張兵)

南三陸町からの便り

今年も南三陸町の保育園を卒園する49人の子どもたちに鉛筆削りを贈りました。
東日本大震災後に生まれた子どもたちです。
子どもたちの幸せと復興を願って見守り続けます。

伊里前保育所

宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会の皆様

どうもありがとうございました！



NPO法人 宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会 様

こんにちは、南三陸町の伊里前保育所です。

浅春の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日は、子どもたちのためにご支援をいただき、大変ありがとうございました。いただいた鉛筆削りを手に取ると子どもたちは大喜びで、ますます入学への期待が深まった様子でした。

毎年被災地の事を想い、途切れることのないご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。

これからも職員一同、復興の進む町で多くの方々からの温かいご支援に感謝しつつ、子どもたちの成長を見守りながら精一杯頑張って参る所存です。

最後に、宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会の皆様のご健康と益々のご活躍をお祈り申し上げ、お礼の言葉と致します。

季節の変わり目なのでくれぐれもご自愛ください。

南三陸町立伊里前保育所職員一同



保育所の修了式も無事に終わり、就学児童が期待に胸をふくらませ、小学校に飛び立っていきました。

いただきました鉛筆削りは子どもたちが学校に通いだしたら大活躍することでしょう。本当にありがとうございました。

今後も戸倉保育所の子どもたちにご支援いただいた皆様への感謝の気持ちを忘れないよう伝え続けていきたいと思います。

皆様の今後ますますのご活躍とご健康をお祈りしております。

南三陸町立戸倉保育所児童・職員一同



戸倉保育所



追悼

武田(長) 清子さん

— 宋慶齡日本基金会理事長 1984年9月22日～2000年9月11日 —

2018年4月12日 武田清子さんが昇天されました。国際基督教大学名誉教授、享年百歳。4月1日、中国宋慶齡基金会の王家瑞主席がお見舞訪問の打診をされた時には「ベッドで過ごす時間が長くなりましたが、車椅子で食堂に出かけられます…」とのご様子でした。

武田先生は、NPO法人宋慶齡基金会日中共同プロジェクト委員会の前身、宋慶齡日本基金会の全期間16年間に亘り副会長兼理事長を務められました。当初は中国宋慶齡基金会（康克清主席）も発足間もない時期で、日中両基金会の指導者たちは相互理解をはかるため、努めて往来し、「平和と子どもたちの未来のために」何ができるかをよく語り合いました。武田先生は、理事・評議員の先見ある提案に応え、熟考し、着実に実現に導かれました。北京では児童科学館と科学公園を建設支援し、子どもたちに「科学の夢」を贈り、上海では宋慶齡女史創建の国際和平婦幼保健の近代化支援とモデル幼稚園の建設支援を行い、我が国の先進的な医学者や幼児教育者を派遣し、専門書などの資料も多方面の協力を得て無償提供されました。また、黄華主席の時期には、同主席の説かれた黄土高原地帯におけ



る貧困脱却事業に共感され、遅れていた女子教育に対する支援に重点を置くプロジェクトを立ち上げ、日本基金会の老中青各世代が寧夏回族自治区南部に赴き活躍する日中交流の熱いページを開かれました。

文化・思想の追求者として、教育者として、大学人として、さらに基督者として国際的に大きく生きられた武田先生の生涯は、それぞれの分野で敬意をもって回想されることでしょう。武田理事長の下で当初から長期間事務局長を務めさせて頂いた日々は、私にとっては貴重な集中講義を授かった時間でした。

(久保田博子)



元中国宋慶齡基金会副主席 唐間生さんと

宋慶齡日本基金会関係編著書

『中国のきり拓く道—日本より見る—』

宋慶齡日本基金会 武田 清子 編
勁草書房、1992年11月

『中国へのかけはし』

宋慶齡日本基金会 武田 清子 編
宋慶齡日本基金会、2000年9月

追悼 小坂哲瑯さん



日本宋慶齡基金會で小坂哲瑯さんと言えば、当時の中国宋慶齡基金會 黄華主席（元中国外務大臣）の要請に応え、東京ライオンズクラブを率いて、多額の寄付を集め、日中宋慶齡基金會の一大共同プロジェクト「寧夏教育支援」を大展開して下さった事を思い出します。中国西北部の砂漠地帯に幾校もの小中学校校舎を建設支援して下さいました。

小坂さんは、1984年の宋慶齡日本基金會創設当初から副会長として、経営される日比谷松本楼を会議、講演、日中交流活動の場として開放して下さい、ご家族・会社を挙げて宋慶齡基金會の活動に貴重な場を提供して下さいました。

2000年に宋慶齡日本基金會が閉幕し、次いで（NPO法人）宋慶齡基金會日中共同プロジェクト委員会発足後も、小坂さんは顧問として重要な場面で大きなお力を添えてくださいました。心から感謝申し上げます。

日比谷松本楼会長小坂哲瑯（本名：明）さんは、体格のご立派な、大らかな方でしたが、病魔には勝てず、昨2018年5月23日、悪性リンパ腫で死去されました。享年86歳。

（久保田博子）

追悼 渋谷文雄さん

宋慶齡基金會日中共同プロジェクト委員会が発足して間もなくの講演会場で初めてお見かけした時のご様子が印象深く、やがて、お会いするたびに日中戦時中国の興味深い体験談をいろいろ伺うようになりました。また、様々な体験談の中で多くのご教示に与りました。懐かしい想いと感謝で胸がいっぱいになります。

渋谷さんは長野県北部のご出身ですが、青年時代に中国・ハルピン学院に学び、終戦に際し、人民解放軍に入隊、やがて中国から戦士の礼遇を受け、逝去に際しては駐日大使館より弔問を受けられました。

渋谷さんが嘗て社長を務められた「タチエス」は、昭島市に本社を置く、自動車用部品製造を主とした企業と聞いています。

当初から、渋谷さんは、宋慶齡さんの事も宋慶齡基金會の意義もよくご存じでした。日中戦争を日中両国の立場から戦場で体験し、日中両国関係について独自のスタンスを持って居られ、心から日中関係の将来に思いを致し、若い世代に、熱心に語りかけておられました。

本年5月11日、癌との闘病を経て逝去されました。享年89歳。
（久保田博子）



2017年

11月11日 第30回JCC中国講座：新保敦子さん
「日中の英語教育の比較—グローバル化時代の言語政策」

2018年

2月25日 第16回総会 及び 第44回理事会
3月 東日本地震被災地への支援活動として、
南三陸町の保育園卒園児 44人に鉛筆削り贈呈
4月 1日 「日中平和友好条約締結40周年記念行事」(於：東京) 中国宋慶齡基金会との共催
4月 23～24日 上海宋慶齡基金会理事年会参加 (張兵理事)
5月26日 第31回JCC中国講座：佐々木芳邦さん
「日本経済と中国経済について」
6月21日 小坂哲瑯氏お別れ会に参列
9月 8日 武田清子先生を偲ぶ会に参列
11月25日 第32回 JCC中国講座：王海峰さん「日中言語文化交流の過去・現在・未来」
11月 27～30日 第30回孫中山・宋慶齡記念地聯席会議並びに特別展示会への参加 (張兵理事)

2019年

3月 9日 JCC第17回総会及び第45回・46回理事会
3月22日 東日本地震被災地への支援活動として、
南三陸町の保育園卒園児49人に鉛筆削り贈呈
4月16日 上海宋慶齡基金会訪日団が JCC 来訪
5月18日 渋谷文雄氏告別式に参列
6月17～18日 子供安全教育プロジェクトにより、
北京の保育関係者に対して安全教育研修の実施 (於・東京)
7月24日 中国福利会主催の各国宋慶齡基金会の
交流活動に参加 (井岡健理事、井岡今日子理事)
7月19日 中国宋慶齡基金会訪日団がJCC来訪
9月 6日 子供安全教育プロジェクトの一環として、
中国福利会交流団来日
10月 6日 餃子パーティ (於・日野市)
11月20日 JCC ニュースNo.26発行



北京の保育関係者に子供安全教育研修

第33回 JCC中国講座 予告

建国70周年を迎えた中国の内政と外交
— グローバル化時代の言語政策 —

講師：朱 建栄氏

(東洋学園大学教授、日本国際アジア共同体学会副理事長)

中華人民共和国は建国70周年を迎えたが、紆余曲折・試行錯誤を経て世界2位の経済大国になり、米国の警戒を呼び、米中経済戦争にも突入している。その内政と対外関係についてマクロ的に把握し、「光」と「陰」の両面を見てその行方を展望する。日中関係の現状及びその行方も併せて検証する。

日 時 2019年11月30日(土) 14:00～16:00

場 所 八王子市生涯学習センター(クリエイトホール)
視聴覚室(11階)

参加費 無料

[主催] NPO法人 宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会



餃子パーティ

「為了明天」No.26

2019年11月20日 発行 題字：周 肖

発行者：
NPO法人宋慶齡基金会 日中共同プロジェクト委員会
代表理事 井上睦子
〒192-0046 東京都八王子市明神町4-15-5-905
TEL/FAX 042-646-4210
郵便振替：00170-2-152423